

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

2件(O121、O26)の報告があり、今年の累計は13件となりました。

例年、10月ごろまでは多発する傾向にありますので、注意が必要です。(次頁参照)

2. RSウイルス感染症

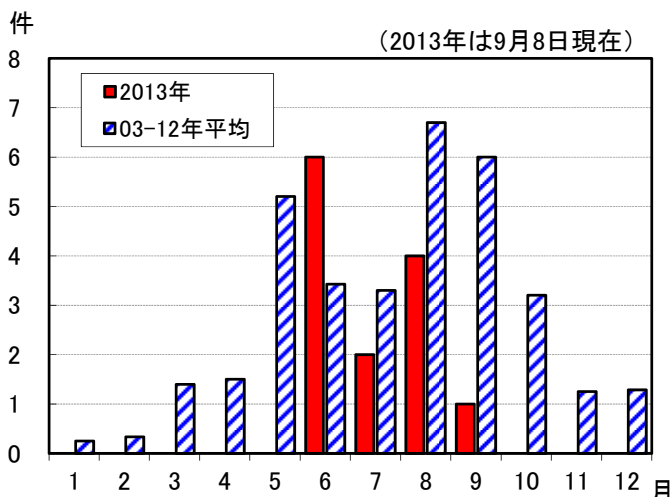
定点当たり1.04人と、やや増加しました。

RSウイルス感染症は、年齢を問わず繰り返し感染しますが、年齢が低いほど重症化しやすく肺炎や気管支炎などを引き起こすことがあるため、乳幼児は特に注意が必要な疾患です。

3. 風しん

1件の報告があり、今年の累計は35件となりました。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.32		ヘルパンギーナ	14	0.58	0.92	
咽頭結膜熱	21	0.88	0.22		流行性耳下腺炎	3	0.13	0.61	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	0.83	0.57		RSウイルス感染症	25	1.04	0.23	
感染性胃腸炎	75	3.13	3.43		急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	28	1.17	0.67		流行性角結膜炎	5	0.63	0.85	
手足口病	28	1.17	1.15		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	-	-	0.20		無菌性髄膜炎	3	0.43	0.06	
突発性発しん	12	0.50	0.77		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.31	
百日咳	1	0.04	0.14		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	134	女性(20歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、男性(80歳代)・2人、女性(90歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	13	女性(10歳代)・O121・市外、女性(30歳代)・O26
5	ウイルス性肝炎	1	8	女性(60歳代)・C型
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	6	男性(80歳代)
5	梅毒	2	6	男性(20歳代)、男性(40歳代)
5	風しん	1	35	男性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎
報告数	広島市	第32週	-	35	22	99	21	157	-	13	-	28	6	19	1	11	-	6	2	-
		第33週	-	21	17	55	9	48	-	9	-	14	4	19	-	2	-	6	-	-
		第34週	-	26	15	84	15	68	-	13	1	10	3	17	1	9	-	5	-	-
		第35週	-	30	24	86	10	48	2	12	1	6	2	21	-	11	-	5	-	-
		第36週	-	21	20	75	28	28	-	12	1	14	3	25	-	5	-	3	-	-
定点当 たり	広島市	第32週	-	1.52	0.96	4.30	0.91	6.83	-	0.57	-	1.22	0.26	0.83	0.13	1.38	-	0.86	0.29	-
		第33週	-	0.91	0.74	2.39	0.39	2.09	-	0.39	-	0.61	0.17	0.83	-	0.25	-	0.86	-	-
		第34週	-	1.13	0.65	3.65	0.65	2.96	-	0.57	0.04	0.43	0.13	0.74	0.13	1.13	-	0.71	-	-
		第35週	-	1.25	1.00	3.58	0.42	2.00	0.08	0.50	0.04	0.25	0.08	0.88	-	1.38	-	0.71	-	-
		第36週	-	0.88	0.83	3.13	1.17	1.17	-	0.50	0.04	0.58	0.13	1.04	-	0.63	-	0.43	-	-
	全国	第34週	0.01	0.47	0.64	2.96	0.54	4.24	0.04	0.62	0.01	1.48	0.22	0.41	0.03	0.73	0.03	0.09	0.39	0.03
		第35週	0.02	0.49	0.68	2.83	0.35	4.25	0.05	0.67	0.01	1.42	0.23	0.64	0.02	0.71	0.01	0.07	0.32	0.03

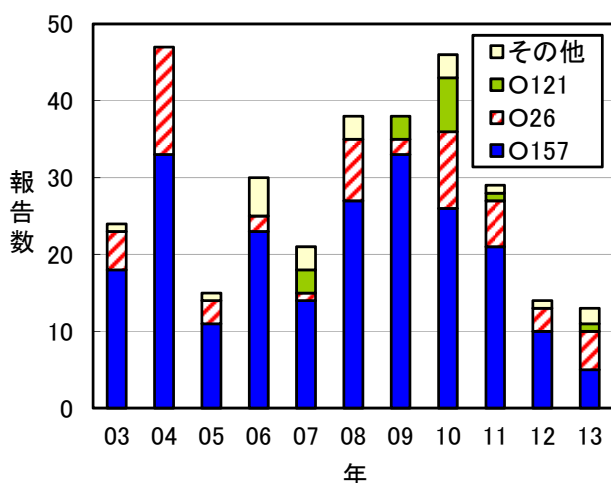
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(38.0) 嘔吐下痢 腹痛	4	男	2013/07/28	糞便	ノロウイルスG2群
無菌性髄膜炎	発熱(39.0) 髄膜炎	14	女	2013/07/21	咽頭拭い液	エコーウイルス6型
無菌性髄膜炎	発熱 髄膜炎	6	男	2013/07/28	髄液	エコーウイルス6型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 発疹	1	男	2013/07/15	鼻汁(拭い液)	パラインフルエンザウイルス1型 RSウイルス
その他の疾患	発熱(39.4) 熱性痙攣	7	女	2013/07/24	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
その他の疾患	発熱(39.0)	1	女	2013/08/04	髄液	ヒトヘルペスウイルス7型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における腸管出血性大腸菌感染症の年間報告数の推移 (2013年9月8日現在)



広島市における腸管出血性大腸菌感染症の今年の累積報告数は13件(O157:5件、O26:5件、O121:1件、その他:2件)で、昨年1年間の報告数(14件)に近づいており、今後も増加する可能性があります。

全国的には、保育施設や高齢者関連施設内での集団発生も報告されており、子どもと高齢者は重症化しやすいため特に注意が必要です。

予防のために次のことに特に注意しましょう。

- 手洗いを励行しましょう。
- 食品は衛生的に取り扱い、調理器具はよく消毒しましょう。また、肉・レバーなどはよく加熱し、生食は控えましょう。
- 乳幼児や高齢者のオムツの取り扱いには十分注意しましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第36週(9月2日～9月8日)